

# 興道会だより

米沢仏教興道会 〒992-1443 米沢市大字笹野170番地 花の里内 TEL0238-38-3328 FAX0238-38-2198 発行責任者/玉木龍晃



興道東部保育園完成予定区

米沢仏教興道会活動、百二十五年の変遷を広く知っていただく為に発刊いたしました「興道会だより」もこのたび九号をお届け出来る運びとなりました。

仏教興道会は発足以来、いつの時も社会事業、社会福祉関係事業に携わり、老人ホーム・保育園等、地域の必要性に応じて参りました。職員一同、研鑽に励み、家族の身になって奉仕する姿勢は地域の皆様方にお褒めの言葉を頂いたりすることで、報われております。今後益々、自分の力を尽くして頂きたいと思っております。

平成十六年には移転開所した北部保育園新園舎のご報告が出来ましたが、今は恵まれた環境の中で保育にあたりつつあります。各園それぞれ施設拡充を願うところですが、順次、取り組んで参りたいと思っております。

この度、老朽化や駐車場確保の為、興道東部保育園の移転工事が始まりました。

東部保育園は昭和四十三年、東部地区住民の強い要望により元海元寺境内地を成就院様より無償借受けにより開設され、四十三年の長き間、このたび三月の卒園を含め四九一人の卒園者を送り出すことが出来ました。本当にありがとうございます。

興道東部保育園は、平成二十二年度保育所緊急整備事業費補助（山形県安心こども基金特別対策事業）を受け、平成二十三年二月二十八日完成をめざし工事しております。三十人増員が見込まれ、九十人の定員となり待機児童解消の一助となると思っております。今後は、新園舎での卒園式となりますが、会員の皆様には、宜しくご協力の程お願い申し上げます、ご報告致します。



米沢仏教興道会 会長

玉木龍晃

## 平成23年度 事業計画(案)

4月 正会員会総会

6月11日(土) 第87回 花まつり

■時間/14:00～ 於:米沢市市民文化会館

9月 正会員会

12月中旬 歳末助け合い募金

2月上旬 正会員会新年会

平成24年

3月1日 機関紙「興道会だより」第10号発刊

※その他、花まつり関係事業、幹事会、編集委員会等を開催。

## 平成22年度 事業報告

■とき/平成22年4月14日(水) ■時間/18:00～  
正会員会総会 …… 於:招湯苑

■とき/平成22年6月12日(土) ■時間/14:00～  
第86回花まつり …… 於:米沢市市民文化会館

■とき/平成22年8月27日(金) ■時間/18:00～  
正会員会総会 …… 於:招湯苑  
※任期満了による役員選出。第86回花まつり決算報告。

■とき/平成22年10月19日(火) ■時間/14:00～  
秋季戦没者慰霊祭 …… 於:東源寺

■とき/平成22年12月14日(火) ■時間/10:00～  
歳末助け合い募金(ののさま募金) …… 於:本部プレハブ

■とき/平成23年2月4日(金) ■時間/18:00～  
正会員会新年会 …… 於:招湯苑

■とき/平成23年3月1日(火)  
機関紙「興道会だより」第9号発刊

※その他、花まつり関係事業、幹事会、編集委員会等を開催。



米沢仏教興道会

塚本祖玄

衆善奉行



先日の新聞に、無差別殺傷事件で中止されていた東京・秋葉原の歩行者天国（ホコ天）が、二年七ヶ月ぶりに再開されたと報じられていました。待ちかねていた人々が中央通りに溢れ、安心・安全な街に戻ったことに、市民は安堵したことでしょう。

ここ数年、無差別殺傷事件や児童への虐待事件・いじめによる自殺等が起きています。いたわりや思いやりのある人間社会はどこにいったのかと嘆かわしく思います。

私が四年前、中国の白楽天の隠居地に行った時に、次の詩偈を聞かされました。

「諸悪莫作 衆善奉行 自淨其意 是諸仏教」

それは、どんなことがあっても悪いことはしてはいけない。善いことを行い、常に清らかに生きていくことが、仏のみおしえである。

という意味です。

簡単なようですが、善い事を実行し続けることは難しいことです。是非、一人一人が実行し、明るく、幸せな世の中を作ってほしいと願っています。

合掌

# 第五回 観音霊場巡り

観音信仰は古くからあるが、衆生が日頃出会うあらゆる災難や苦難が、ただ菩薩の名前を唱えるだけで即座に救われるという、七難七生の利益の信仰は庶民の中に深く入り込んだ。

又、衆生の苦難に菩薩がさまざまに化身して示現するという三十三身説は、観音霊場三十三カ所の遍路となつて広く流行した。

この近くでよく知られているのは、最上三十三観音や置賜三十三観音霊場がある。

しかし、地元の米沢三十三観音霊場もあることを知っている方が少ないのは、残念なことである。

浅からぬ歴史のある霊場を埋もれさせるのは偲び難く、せつかくある資料を以て認識を新たにしてもらいたいと思う。

今回は五ヶ所を紹介したいと思う。



五番 聖観世音 東町 昌傳庵  
このさとしに 縁し傳へて たついはに  
ほとけのちかひ たのもしきかな



二十六番 子育正観世音 北寺町 天正寺  
ふかきつみ いまよりのちは あさくさこの  
おなじみそぢと きくぞたのもし



四番 聖観世音 七軒町 照陽寺  
よをてらす あさひののぼる しらたきに  
あなとうとしや みほとけのかけ



十九番 聖観世音 免許町 海應院  
まつとみて いまわのぞみの こけいごん  
にはのちくさも さかりなりけり



二十九番 千手観音 龍言寺町 龍言寺  
そのかみは いくよなるらん このてらの  
ほとけのゆらひ きかまほしさよ

## 秋季戦没者慰霊祭

平成二十二年十月十九日金

於・東源寺



米沢市遺族連合会会長

金

啓一郎

### 秋季戦没者慰霊祭について

仏教興道会では六十年近くにわたり、私達の願いを快くお引受いただき、追悼法要や慰霊祭を毎年厳肅に斉行いただき、誠に有難く厚く御礼を申し上げます。

この度、遺族の方々の高齢化にともない、慰霊祭への参加が年々急激に減少し、大変御迷惑をおかけすることになりましたので、いろいろ協議、ご相談を申し上げ、しばらく秋季慰霊祭をお休みにさせていただくことになりました。誠に心苦しく、申し訳ない気持ちで一杯であります。



顧みれば、戦後六十五年の歳月が流れ、戦争を知らない世代が八十%を超える時代となり、あの悲惨な戦争の記憶

や戦後のつらい苦しい生活の様々なことは、遠く忘れ去られようとしております。しかし私達遺族の心の痛みは決して消え去るものではなく、亡くなられた肉親への想いはいつも心の中に生き続けております。今日の平和で豊かな時代は、あの人達が一身を投げうって必死に尽くされた尊い犠牲の礎の上に成り立っていることを私達は決して忘れることはありません。だから感謝と尊崇の念をこめて、末永く慰霊を続けていくことが必要なのであります。このことは遺族だけに限らず、多くの国民にも広く理解を深めていただくことが必要であり、若い世代にも広く語りついでいくことが、私達の使命であると考えています。しかし、高齢化の波は防ぐべくもなく、戦没者の妻や兄弟はすでに九十歳を越え、年々減少の一途をたどっております。我が遺族共励会でも戦没者の妻達は二十数名を数えるにとどまり、さらに身体の不自由な人達が過半数を超え、元氣な方々

は数名を数えるほどしかおられません。慰霊祭に出たくても出られない人が多くなり、ご迷惑をおかけすることになってしまったのです。このことは、玉木会長にもいろいろとご相談を申し上げ、快くご理解を賜りました。そして昨午がちょうど戦後六十五年の節目の年にあたりますので、最後の慰霊祭とすることになり、盛大に斉行していただきました。誠に有難く厚く御礼を申し上げます。



これからは、遺児の子供達を中心として頑張つて後を継いで行き、各遺族が個々に菩提寺にて慰霊法要を続けて行こうと思っておりますので、今後とも末永く、ご教導、ご協力を賜りますよう、心から御願いを申し上げます。今日まで、五十数年にわたり、毎年厳肅に慰霊祭にご奉仕いただき誠に有難うございました。改めて、重ねて心から感謝を申し上げます。御礼の言葉といたします。



## 歳末募金御礼ののさま募金

今年も歳末助け合い募金活動(ののさま募金)にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。

お陰様で、お忙しい中、十二月十四日(火)に駆け付けていただいた会員御寺院様、各保育所・老人ホームの利用者様と職員の皆様の善意は合計八七、五五八円もの募金浄財となりました。皆様のご協力に厚く御礼申し上げます。集まった募金浄財は、十二月二十一日(火)に玉木会長より米沢市社会福祉協議会を通じて「歳末助け合い募金」に寄付いたしましたことをご報告いたします。

今後も皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。この度は誠にありがとうございました。合掌

